

平成 27 年第 5 回庄原市議会定例会

所管事務調査報告書

広島県庄原市議会

総務財政常任委員会

○長期総合計画について

総務財政常任委員会所管事務調査 報告書

現在、本市では、第2期長期総合計画を策定中である。議会としても、しっかりとした議論ができるよう、本委員会で閉会中の継続審査事項としての取り組みを進めてきた。具体的な経過としては、平成27年第3回定例会において、「長期総合計画」を継続審査とすることの議決を得て以降、他の継続審査との日程調整をしつつ、本件について5回の常任委員会を開催した。そのうちの2回は執行者の出席を求め、提出資料をもとに調査・研究を進めてきたところである。

あわせて、他自治体への行政視察を行うなど、限られた日程の中で長期総合計画についての調査を精力的に行った。計画策定に議会が大きく関わった事例は全国的にも多くはないが、中でも、特徴的な2つの自治体を訪問して視察を行えたことは当委員会にとっての貴重な成果であり、それぞれの特徴を述べておく。

(1) 神奈川県藤沢市

視察日：平成27年8月18日

市の概況：首都圏の観光・保養・住宅地として発展した湘南経済や文化の中心都市。

面積：69.57平方キロメートル

人口：42万619人（平成27年4月現在）。

特徴としては、従来の長期総合計画は策定に多大な時間と労力を要すること、また、重要・緊急な取り組みがわかりづらい等の理由により長期総合計画を廃止して、新たに重点化計画としての総合指針を打ち出したことである。

(2) 神奈川県葉山町

視察日：平成27年8月19日

市の概況：東京から50キロメートル圏内に位置し、住宅と観光の町として発展している。

面積：17.04平方キロメートル

人口：3万362人（平成27年4月現在）。

特徴としては、第3次総合計画後期計画策定において、計画案を議会が否決、再度提出された計画案を修正可決した。また、第4次総合計画策定については、特別委員会を設置し、慎重・活発な議論が行なわれた点である。

この報告に当たり、特に記しておきたいのは葉山町の例である。第4次総合計画策定に際しては、計画案が提案される前から特別委員会を設置して、1年半をかけて調査が行なわれていた。これは、議会の意見を反映できる取り組みとして評価できる。

申し上げるまでもなく、地方自治法の改正により長期総合計画策定の義務はなくなったものの、実質的には長期総合計画の策定は続いている。また、この策定には議会議決を要することが多くの市町村の条例に定められており、本市も例外ではない。

長期総合計画という本市の最上位計画に対して議会の責任を明確にし、今まで以上に充実した審査・調査を展開する必要性を強く感じたところである。

なお、今後は長期総合計画についての特別委員会の設置が予定されており、特別委員会において調査される見込みであることを申し添えて、本委員会の最終報告とする。